

第6回上田市花と緑のまちづくりコンクール審査結果

平成19年に始まった本コンクールも、平成24年で6回目の開催となりました。第5回目同様、団体部門（50平方メートル未満・プランターの部、50平方メートル以上の部）、個人部門、学校部門の4部門で審査が行なわれました。第6回は全部で51件の応募があり、平成24年8月24日に一次審査（書類審査）、9月6日に二次審査（現地審査）を行った結果、12団体（個人含む）が受賞されました。表彰式は、10月17日に丸子地域自治センターにて行われました。

団体部門(50平方メートル未満・プランターの部)

◆最優秀賞

和子自治会ふれあいの会（東内）



国道に面した細長い花壇ですが、背景の石垣と花がとても良く調和しています。個々の生育も良く、高さも揃っていて、統一感のある花壇です。

◆優秀賞

木町分館花育てタイ（中央4）



120個のプランターを通り全体に配置し、町中に潤いと華やかさを与えています。ピンクのペチュニアが生育も良好で、色鮮やかです。

◆奨励賞

富士見台みどりの仲間（上野）



左右対称に配置し、草丈も考慮して組み合わせられています。色合い、生育ともにバランスのとれた花壇です。

団体部門(50平方メートル以上の部)

◆最優秀賞

下本郷地区花と緑の街づくり協議会（本郷）



立体的となるよう高さも考えられていて、それぞれの生育も揃っています。特にオレンジ色の花々がきれいな列となっていて連なっているのが印象的で、道路からの景観も見ごたえがあります。

◆優秀賞

保野長生会（保野）



彩りが豊かで、色の組合せも良く、草丈がきれいに揃っています。帯状のデザインですが、外周に黄色(マリーゴールド)を配置することでアクセントになっています。

◆奨励賞

しなの木会・上沢子供会（国分）



サルビアとマリーゴールドで円をつくり、その周りを白のペチュニアで埋めるといったデザインで、とても清涼感のある配色となっています。

個人部門

◆最優秀賞

川上 好夫 邸（腰越）



100個のプランターで育てられたペチュニアの美しさに圧倒されます。生育も全体的に揃っていて、管理の状況も非常に良いです。

◆優秀賞

村田 由美子 邸（殿城）



花の種類も多く色合いも豊かで、まとまった花壇です。多くがプランターに植えられていますが、スタンドや棚を組み合わせ、上手に立体感を出しています。

◆奨励賞
黒澤 朝男 邸（本郷）



いろいろな材料を工夫して、庭への入口をきれいに魅せています。ペチュニアが中心ですが、置く場所によってプランターを揃え、統一感を出しています。

学校部門

◆最優秀賞
長小学校（真田町長）



うねを作って横一列に配置し、階段状に見えるよう花の高さやうねの間隔も工夫されています。それぞれ2列ずつ植えることにより、赤・黄・青のコントラストが一際鮮やかです。

◆奨励賞
塩川小学校（塩川）



花壇と校舎の間に緑のカーテンをつくることにより、立体感が出ています。毎年、子どもたちでデザインを研究するなど、学校全体で花づくりに取り組んでいます。

◆優秀賞
第五中学校（上野）



ブルーサルビアで作られた文字を取り囲むように、多くの花が配置され、それぞれの生育も良好です。コンパクトですが、非常にボリュームのある花壇です。